

みんなで夢ある稲生にしよう！！～

2023年 10月20日

第七十七号



夢協だより

発行：夢ある稲生まちづくり協議会 電話386-0059



2023年度敬老会 開催！

出演者・スタッフの活躍に感謝！！！！

敬老会実行委員長 村山 昌子

四年間のブランクをはさみ、開催には多くの困難な事情がありました。

しかし、それを吹き飛ばす自治会長さん、老人クラブの皆さん、民生委員さんや民生児童委員さん、公民館や各団体が普段から練習に励んでみえる出演者の皆さん、白子中学校、稲生小学校、稲生幼稚園の皆さん、地域包括センター、市民センター、夢ある稲生まちづくり協議会等に関わる皆さんののおかげで116名の招待者に誠心誠意おもてなしができた実感しております。

小学校体育館ということで、集音マイクがないため音響効果に課題のあったことや、大変暑かったことは、いただきましたアンケートでも顕著でした。今後検討していかなければなりません。

感謝や励ましの言葉を多くいただきまして本当にありがとうございました。



『稲生地区避難訓練』に参加しましょう！

南海トラフ地震(震度 6 弱)により、家屋等の倒壊で甚大な被害が各地区で発生したことの想定で防災訓練を実施します。

訓練実施日: **10月22日(日)**、午前8時に訓練実施の合図として花火打上げ。

① 各自治会における避難地訓練。午前8時30分～9時30分

★各自治会指定の避難地に避難カードを持って家族で避難しましょう。

② 稲生地区自主防災委員会委員による、収容避難所開設訓練。(稲生小・体育館)

午前10時00分～12時00分

★収容避難所を迅速に開設する為の、習熟訓練を行います。

『昨年度訓練状況』



【稲生を食べよう！秋の収穫祭開催のご連絡！】

開催：11月25日(土)雨天時11月26日(日)に延期

場所：稲生小学校グラウンド

※詳細は、11月5日広報で、抽選券付き収穫祭チラシを全戸配布します。

11月度子ども食堂「稲乃屋」は中止します。

11月25日(土)稲生を食べよう！秋の収穫祭に協賛
豚汁のふるまいを行います！



「わたしたちの住む町 稲生」 絵画・作文コンクール

－ 結果発表 と ご協力のお礼 －

稲生地区青少年育成町民会議

たくさんご応募いただき、ありがとうございました。町の様子や自分の体験、稲生のイメージなど様々な視点で表現していただき、うれしく思いました。

これからも地域について学んだり、考えたりして、稲生の町に親しみを持って欲しいと願っています。ここに、入賞者の作品をご紹介します。

入賞者の作品紹介

《絵画の部》



稲生小 1 A 木田 鈴子
「だいすきな おしっさん」



稲生小 1 B 中村 日花里
「ししまい」



稲生小 1 D 田口 新大
「むしおくり」



稲生小 5 C 門谷 胡桃
「のどかな田んぼが広がる町」



稲生小 5 C 伊達 彩華
「ラジオ体操」



稲生小 6 C 前田 紗良
「伝統つづく稲生」



稲生小 6 D 廣長 紗菜
「久しぶりのサマーフェスタを全力で」

《作文の部》

「楽しいたこあげ」

稲生小 3A 前田 統真

ぼくの住む稲生で、たこあげがありました。地いきの人たちがやってくれたイベントで、たこを手づくりし、参加しました。ぼくは初めて作るの、どう作っていいのかわからなかったから、お母さんに手伝ってもらって、いっしょに作りました。お母さんもむずかしそうにしていたので、本当にたこが飛ぶのか心配になりました。たこの絵は、ぼくが一番好きなポケットモンスターのキャラクターでルカリオをむずかしかったけれどがんばって書きました。とてもかっこよく書けたのでうれしかったです。

たこあげは、お姉ちゃんと友だちと参加しました。たくさんの人びとが集まっていておどろいたし、みんな手づくりだからいろいろな形のたこがいっぱいあってびっくりしました。

当日は、天気はとても良かったけれど風がありませんでした。だから、ぼくがおもいきり走ったら、たこが少しずつ上がっていきました。楽しくなって何度もちょうせんしました。工夫したらコツをつかんで高く上げられるようになりました。お姉ちゃんや友だちは、うまく上げられなかったの、ぼくのたこをみんなにかしてあげました。みんながえがおになったし、ぼくのたこを、「よく上がるね。」「すごいね。」と、ほめてくれてうれしかったです。

たこあげのイベントをしてくれた地いきの人たちは、プレゼントのおかしをじゅんぴしてくれたり、たこを上げるコツを教えてくれたり、こわれてしまったらしゅう理してくれて、とてもたよりになってやさしかったです。

よくできた子は、しょうをもらっていたけど、ぼくは選ばれなかったの、くやしかったけれど、自分で作ったたこが空高くまいあがって気持ちよさそうにとんでいて、とても楽しかったの、また参加しようと思いました。

稲生地区は、歴史も長くて、たくさんの行事があつて、地いきの人たちといっしょに楽しめるので、これからもたくさん参加して、稲生のことをもっと知りたいと思いました。



「ぼくの住んでいる稲生の町」

稲生小 3A 久留 蒼太

ぼくは、いのう神社のしし神楽について調べました。来年令和6年は、3年に一度のまい年で、ぼくも口取として、ししまいに出ることになったので、もっとししまいのことを知りたいと思って、神社の人に話を聞きました。

いのう神社のししまいは、約1300年前からあったと言われています。西暦672年に壬申の乱が起こって、当時の天む天皇が、じゅう神をまいのうしたことによってはじまりました。神社には、かまくら時代の、こう安3年(1280年)のめいが入った、しし頭がのこっていて、いのう神社のししまいが、鈴鹿で一番れきしが古いと言われています。

ししまいは、四頭いて、大宮・西宮・三大神・ぼさつどう で、それぞれ名前がついていて、よく見ると、顔や大きさがちがいます。その中でも、大宮さんが一番大きくて顔もかっこいいので、ぼくは、大宮さんが一番好きです。あと、ししまいは21人でします。お頭4人・後まい4人・口取4人・ふえ太鼓3人・お先4人・宮司1人・に物持ち1人の全員で21人です。えん目は8つあって、1頭でまう「おおぎのまい」、2頭でまう「おこしまい」、4頭でまう「だんちょ・中おこし・紙おうぎ・鳥とび・おいたて・花のまい」です。

来年2月初めから、稲生地区内の20かしょ前後の、まい場をめぐる。ぼくは、頭に、にわたりの形をしたものをかぶって、鬼のようなお面をつけるのですが、一度かぶらせてもらったら、けっこうおもくて、まわりが見えづらかったから、ちゃんとできるか不安になったけど、ゆう気を出してもっとチャレンジしたいし、心があふれるぐらいにやりたい気持ちが出てきて、早く本番をやってみたいです。けいこを一生けんめいがんばるので、たくさんの人に見てもらいたいです。そして、たくさんの人に、いのう神社のしし神楽を知ってほしいです。



「楽しみな子ども食どう 稲乃屋」

稲生小 3A 近田 結花

わたしの住んでいる稲生の町は、自ぜんゆたかない所です。まわりには田んぼや畑があり、おいしいお米や野菜がたくさんとれます。そんなおいしい食べ物を使っていろんな料理を作ってくれる「子ども食どう」を、わたしは毎月楽しみにしています。

子ども食どうは、「夢ある稲生まちづくり協ぎ会（夢協）」がおこなっている行事の一つです。稲生の農家の人たちが、お米や野菜をきぞうしてくれます。それでいろんなごちそうを、たくさん作ってくれます。とてもおいしいです。家で食べたことのない料理が出てくるので、「これ何？何が入っているの？」と聞くと、名前や作り方もやさしく教えてくれます。にがてな野菜もあるけど、すきになった食べ物もふえました。子ども食どうは、子どもは無料で、大人は300円でさんかできます。いろんな人たちが来ます。

5月には、かぶと、こいのぼりの形をした春まき、クリスマスは、子どもだけケーキがでうれしかったです。お正月には、きねとうすを使って、もちつきをしました。はじめてもちつきをしたけど、きねが重たくてビックリしました。でも、自分でついたおもちをみんなで食べたら、すごくおいしかったです。きせつごとにサプライズがあって、毎回ワクワクしています。お友だちに会えて、おいしいごはん、楽しい遊びやイベントがある、子ども食どうを、ずっと続けてほしいと思いました。



「稲生の田んぼっていいな」

稲生小 3B 田中 楓

わたしの住む稲生地区には、田んぼがたくさんあります。学校の勉強で稲生の田んぼを調べる時間がありました。わたしは、田んぼを見たときに、どうしてこんなに稲が良く育つのかを知りたかったので、田んぼを育てている地いきの人に聞いてみました。地いきの人は、「みんなが、おいしいと言ってくれるように、田んぼの生き物たちや、おとなの人たちが、力を合わせて作っているんだよ。」と教えてくれました。田んぼには、アマガエル・クモ・ゲンゴロウなどの良い生き物と、ウンカ・イナゴ・ジャンボタニシなどの悪い生き物たちがいることも、教えてくれまし

た。見た目は悪そうな良い生き物たちは、悪い生き物たちをおっぱらってくれます。稲のせい長のじゃまをする悪い生き物たちもいました。良い生き物たちをふやしていくためには、これからどうすればいいのかを、もっと調べてみたいです。

田んぼの緑色を見ると、目がかれにくくなることも知りました。わたしも、緑色の田んぼを見て、きれいだなと、思います。わたしは、緑色の田んぼが好きだけど、お母さんは、いねかり前の黄色の田んぼも好きだと言っていました。田んぼが、一年中、緑色から黄色にかわるけしきが見られるのが、稲生の良いところです。わたしは、稲生に田んぼがあつて良かったと思いました。それは、生き物も住めるし、地いきの人も楽しくきょう力することができるからです。こんな稲生がずっと続いていくといいなと思います。



「わたしたちの住む町 稲生」 稲生小 3C 鈴木 芙柚佳

1 学き、稲生の町たんけんがありました。わたしは、町たんけんが楽しみでしかたありませんでした。それは、わたしが生まれてからずっと稲生に住んでいるけれど、知らない地区や行ったことのない場所がたくさんあるからです。

はじめの町たんけんは、いのう神社に行きました。はつもうでや、おまつりに行くけど、話を聞かせてもらったのは、はじめてでした。いのう神社が、ここにできたわけや、うけもちの神や月の神の話を聞き、れきしをかんじました。いのう神社には、むらさきつつじの木もたくさんありました。咲いている間は少ないけど、たねをいっぱいおとすそうです。赤ちゃんの木を大切にそだてているところがありました。自ぜんを大事にする稲生の人たちがいることが分かりました。

ほかのコースは、田んぼの多い所を歩いたり、みかん畑の見学をしたりしました。このみかんは、予やくでいっぱいになるみかんだそうです。おじさんたちから、てっか作ぎょうの大変さを教えてもらいました。おいしいみかんを作るために、ど力をしてるのだなと思いました。

他の見学先の本しょう寺では、おどうの中に入らせてもらいました。金ぴかのりゅうのかざりに、あつとうされました。本しょう寺には、子ども食どうもありました。見つけた時、ここなんだと思いました。パパが、カレーづくりのお手伝いをした話をしていたのを思い出しました。

稲生の町を歩いて、見つけたことがたくさんあります。稲生の町を知って、いろんな人が生活をなり立てているのだということもわかりました。





夢協公民館だより



鈴鹿市稲生塩屋三丁目 2-34

TEL059-387-0479

令和5年 10月 20日

令和5年度の稲生公民館文化祭を開催します。

11月は、公民館サークル生による作品展示です。ぜひご来館ください。



作品展示・活動報告

11月 11日(土)9:30~15:00

12日(日)9:30~15:00



《作品展示サークル》

さくら会(洋画)・さくらんぼの会(洋画)・ウッドバーニング・習字(大人)・美文字筆ペン・水墨画
楽しい絵手紙・編み物・生華(嵯峨御流)・大人のぬり絵・古布手芸・俳句

《活動報告サークル》

ストレッチ体操・リンパヨガ・棒術空手・囲碁(上級)・囲碁(初級)・脳トレ(マジック)・脳トレ(体操)

《呈茶》11日のみ(当日 10:00 受付。定員になり次第終了) 抹茶(裏千家)・裏千家茶道の基本

《絵画コンクール作品展示》稲生地区青少年育成町民会議

「わたしたちの住む町稲生」の入選作品を展示します。

ふるさとめぐり～稲生地区の歴史めぐり～ 定員50組(定員になり次第終了)

11月3日(金・祝) ※雨天11月5日(日) **スタート・ゴール**野村地区 野村神社

受付時間 8:30~10:30 順次スタート → 終了時間 12:00 持ち物 筆記用具・飲み物

稲生地区社会福祉協議会主催

お申し込みは、10/20(金)からです。稲生公民館 **387-0479** へお電話ください。
先着順です。定員になり次第締切ります。電話受付は平日 9:00~16:00 の間です。
申し込みの際には参加者の住所、氏名、年齢、電話番号をお知らせください。

【子育てサロン参加者を募集します】

日時	場所	内容	募集人数	募集期間
11/21 (火) 10:00~11:30	稲生公民館 ホール	バランスボールで 『有酸素運動と ボディメイク』	10組 (20人)	10/20~10/31

【さわやかサロン参加者を募集します】

日時	場所	内容	募集人数	募集期間
11/28 (火) 13:30~15:00	稲生公民館 ホール	フレイル予防 トレーニング	30人	10/20~

公民館のサークル活動に参加しませんか。稲生公民館では 33 のサークルが活動中です。年度途中でも参加できるサークルを紹介します。見学される場合は、公民館までお電話ください。

稲花(詩吟サークル)

唱歌・歌謡曲と吟をコラボして楽しんでいます。

11月27日(月)13:30~15:30 稲生公民館大会議室で体験会を行います。

一緒に歌ってみませんか。

【公民館事業】参加者を募集します。稲生地区の方が優先です。

申込みは **10月20日(金)~10月31日(火)**です。ご希望の方は、申込書を公民館窓口まで。

または郵便ポスト(自動ドア左横)に投函してください。先着順ではありません。

申込み多数の場合は抽選を行います。その時は抽選に**はずれた方**のみご連絡いたします。参加費は当日集金します。材料準備の都合上、教室を含めて5日前以降のキャンセルは参加費が発生する場合があります。

己書 色紙「笑福招き猫」

己書で色紙に、「笑福招き猫」を描いてみませんか。誰でも素敵な色紙ができるように指導していただけます。

日 時 11月16日(木) 9:30~11:30 定員 10名

持ち物 参加費(500円), 水分補給の飲み物



手作り 2024年スケジュール帳またはご朱印帳づくり

今年も開催！来年2024年のスケジュール帳またはご朱印帳を作いませんか。どちらか選んで、お申込みください。

講師は一級製本技能士田中稔先生です。

日 時 11月30日(木) 10:00~11:30 定員 15名

参加費 スケジュール帳(300円) ご朱印帳(500円)

持ち物 手帳の表紙に使う A4 サイズよりやや大きめの綿素材

の布(デニム生地は使えません)布切り用はさみ・筆記用具・30cmぐらいの定規



【ふれあいライブラリー】

10月23日(月) 11月6日(月) 11月20日(月) 15:30~16:00

※おひとり5冊まで借りられます。

-----切り取り線-----

令和5年度公民館事業申込書

名 前 ()

年 齢 (歳)

住 所 鈴鹿市 () 電話番号 ()

① 11/16
己書 色紙「招き猫」(500円)

② 11/30
2024年スケジュール帳(300円)

③ 11/30
ご朱印帳(500円)